

(様式1)

令和5年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

(1) 学校教育目標	1 心豊かな人間性を培うとともに、たくましく生きるための健康や体力を育てる。
	2 自ら学び自ら考える力を定着させるとともに、社会的、職業的自立への意欲を育てる。 3 社会生活及び職業生活に必要な基礎的・基本的知識・技能や態度・習慣を育てる。
(2) 現状と課題	知的障害に加え、発達障害や精神疾患を有する生徒が増加しており、多様化する生徒への対応や個別の支援を教職員が力を合わせて行っているが、個別対応への割合が年々増えてきている。その中で、一人一人の適性や能力に応じた職業教育や産業現場等における実習等を通して、勤労に対する基本的態度や意欲を育み、卒業後の生き方を考えることができるようキャリア教育の充実に努めている。 積極的、予防的な生徒指導を展開し、生徒の主体的な発信による「二高養宣言」や、具体的な場面をICTを活用して考えさせる「二高養チャンネル」等を通して指導を展開するとともに、令和4年度からは「校内支援委員会」を設置して精神的な問題を抱える生徒に対する対応について検討する場を設けている。しかし、今年度ははじめの認知件数については2件、懲戒処分に関しては4件生じていることから、今後も未然防止を念頭に置いた積極的な生徒指導が求められる。
	自己評価実施日 令和 5年 12 月 13 日(水) 学校関係者評価実施日 令和 6年 2 月 20 日(火)
(3) 重点目標	1 ICT機器を活用した楽しく分かる授業づくりの推進
	2 キャリア教育を通じた全教職員による進路指導
	3 生徒の主体性重視と社会性につなげる生徒指導
	4 特色ある学校づくりと魅力発信
(4) 結果の公表	教職員・寄宿舎指導員の自己評価及び生徒用、保護者用各アンケート結果と今後の改善方策について、学校のホームページに掲載する。また、保護者会で説明する。
(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成 学校運営協議会委員(8名) ※校長含む 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事 保健主事 寄宿舎寮務主任	

自 己 評 価				学校関係者評価		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	ICT機器を活用した楽しく分かる授業づくりの推進	<p>①校内ICT研修会の実施</p> <p>②ICT機器を活用した授業実践の蓄積と共有</p> <p>③ICT環境の整備</p>	<p>①電子黒板やiPad、授業に活用するアプリの使用方法和授業場面ごとの活用について、教員同士で学び合う時間を設定し、アイデアの共有や授業事例の紹介等を行った。</p> <p>②ICT機器を活用した授業の授業者と生徒にインタビューを行い、ICT機器を活用した授業の効果を検証することができた。結果は校内限定のホームページに掲載して蓄積・共有した。</p> <p>③校外内外へのアンケートを必要に応じてデジタル化する教員が増え、提出状況と集計が一目で分かるようになった。また、タブレット端末の持ち帰り訓練を行い、リモート学習や家庭での学習に活用する体制を整えた。</p>	A	<p>・清掃業界もICT化されており、ロボットの活用が増えている。業界としても学校にロボットを持ち込んでスマートフォンでの操作方法を指導するなど協力していきたい。</p>	<p>①教員同士の学び合いの場の継続</p> <p>②内容の充実と授業実践収集の協力呼びかけ</p> <p>③学習に効果的なアプリや周辺機器の整備</p>
2	キャリア教育を通じた全教職員による進路指導	<p>①一人一人のニーズに応じた実習先の選定</p> <p>②専門教科、現場実習、職業等における進路実現に向けた指導</p> <p>③進路に関する学習会の実施</p>	<p>①学級担任を中心に生徒や保護者と情報交換し、興味・関心のある仕事を優先するのか、経済的状況や通勤の便利さなどを優先するのかなどの条件について面談を繰り返し、本人、保護者の両方が納得した実習先の選定を行った。また、様々なニーズに対応するために新規実習先の開拓や情報提供も活発に行った。</p> <p>②産業科の特色を生かして、一人一人の進路実現に向けて健康管理、日常生活管理、対人技能、基本的労働習慣、職業適性等を段階的に高めていくことを目標に、学級担任だけでなく学校全体で協力し合って指導を行った。</p> <p>③進路面談や外部講師を招いて進路講話会、職業ガイダンス等を実施したり、職場見学を実施し、実際に働く様子を見学した。また、卒業後の支援体制や福祉制度の変更なども研修会を開き、生徒や保護者だけでなく、職員も学習した。また、進路だよりや進路マニュアルなどを活用し進路に関する情報提供を行った。</p>	A	<p>・高い就職率は素晴らしい。</p> <p>・素晴らしい教育をしている。自信を持って進めてほしい。</p> <p>・ジョブマッチングが良いので、達成感がある。努力が成果となっている。</p> <p>・現在、農福連携が進んでいる。農家個人との連携は難しいが、JA等と連携を模索してもよいのではないかと。</p>	<p>①継続する。</p> <p>②継続して、全教職員で共通した意識をもって進路実現に向けた進路学習を行う。</p> <p>③関係機関との連携を密にしながら、継続して進路情報の啓発を図る。</p>

3	生徒の主体性重視と社会性につなげる生徒指導	<p>①生徒が主体となったいじめ防止活動の推進</p> <p>②生徒会活動や学校行事を通じた社会性の醸成</p>	<p>①充実した学校生活のあり方をGoogleフォームで共有・検討し、いじめ防止等の内容を「二高養宣言」として表明するとともに、学校への要望を伝えた。 「SNS非行防止教室」を実施し、生徒インタビューを「二高養チャンネル」で共有することで、学びをフィードバックした。 いじめ認知（2件：前年比 -1）、懲戒（4件：前年比 -2）があったが、問題行動を生徒同士で防ぎ合う場面が増えてきた。また、精神的に配慮が必要なケースを校内支援委員会で共有し、スクールカウンセラーなどを活用しながら支援にあたった。</p> <p>②「二高養祭」では、多くの来場者を笑顔でもてなし、生徒主体の運営により協調性と社会性を養った。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生きとした生徒の活動ぶりが見られた。自由ヶ丘町会との交流では、素晴らしいコミュニケーションの場面が見られた。</li> <li>・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等外部の方の活用を進めていってほしい。</li> </ul>	①②③ 引き続き、生徒の主体性を尊重し、全職員による生徒指導と外部人材活用を継続する。
4	特色ある学校づくりと魅力発信	<p>①中学校等への魅力発信</p> <p>②2KOYOPRODUCTS全国発信</p> <p>③スポーツ文化芸術活動の充実</p>	<p>①「学校見学会」（中3、中1・2、教員）、「オープンスクール」（企業向け）を実施し、元気な挨拶や説明、製品の品質の高さ、学校概要説明等を発信した。 「中学校訪問」を実施し（中南黒、上北、下北、西北五）、志願者が少ない地域の困り感やニーズ、入学者減の実情を把握するとともに本校の強みを発信し、進路選択の情報提供をした。就職後の定着率と生徒インタビューによる学校紹介VTR等を発信した。 「出前ガイダンス」を実施し（東青、上北、下北、西北五）、進路学習や保護者懇談会での情報提供等、中学校のニーズに応えるとともに本校の魅力を発信した。</p> <p>②アンテナショップ（農園カフェ日々木、食工藤）での委託販売を実施し、Instagramで製作シーンの魅力を発信した。</p> <p>③特別全国障害者スポーツ大会（4×100R）2位、高総文（美術）優秀賞、全特文（写真）校長会長賞をはじめ、多様な能力をスポーツ・文化芸術活動で発信した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境が整えられており、生徒が生き生きしている。</li> <li>・親元を離れて生活するのは良い経験であり、寄宿舎の機能をうまく伝えれば、志願者が増えるのではないかと。</li> <li>・特別支援学級の生徒は増えているのに、特別支援学校高等部の志願者が定員割れとなっているのは不思議な現象である。</li> <li>・入学から3年後の姿を率直に発信していけば良いのではないかと。</li> <li>・「養護学校」という学校名が良いイメージを与えない。校名変更をお願いしたい。</li> <li>・定時制や通信制の高校に進学する生徒が多いならば、選択肢の拡充を踏まえ、産業科と高等学校の併願を認めてほしい。</li> </ul>	<p>①継続し、入学志願者確保につなげる。</p> <p>②二高養品質を共通理解し、継続する。</p> <p>③障スポ、全高総文を見据え、継続する。</p>

<p>(11) 総括</p>	<p>学校評価の趣旨及び実施方法については教職員で共通理解を図り、教職員による自己評価及び生徒・保護者によるアンケート調査を実施・集計・分析し、経営方針に係る重点目標に焦点化して考察するとともに、次年度への課題と改善策を教職員で共通理解した。</p> <p>コロナ禍が終わり、様々な学習や学校行事、PTA活動などを新たに見直して実践することができた。アンケート結果からは、保護者は、本校に入学させて良かったという評価が高く、満足度が高いということが分かった。半面、生徒自身は学校生活について自信が持てないといった様子が見られることから、生徒が自信をもって学校生活を送ることができるよう、学習内容や学校行事等の在り方を検討していくことが必要である。</p> <p>今回の学校評価で得たことや学校運営協議会委員の皆様からいただいたご意見を次年度の学校経営に生かし、社会的自立・職業的自立ができる生徒の育成を目指していく。</p>
----------------	--

## 令和5年度 学校評価の結果について

令和6年2月  
青森第二高等養護学校

### 1 実施方法

- (1) 対象 学 校：教職員（臨時講師含む）49名  
寄 宿 舎：寄 宿 舎 指 導 員（臨時寄 宿 舎 指 導 員 含 む）12名  
生 徒： 90名  
保 護 者： 90名  
寄 宿 舎 生 の 保 護 者： 52名
- (2) 方 式 無記名によるアンケート  
・ I-1・・・教職員・寄 宿 舎 指 導 員 による 自 己 評 価  
【令和5年度学校目標・経営方針・重点項目】  
・ I-2・・・教職員・寄 宿 舎 指 導 員 による 自 己 評 価  
【令和5年度各学部・分掌の重点事項】  
・ 生徒によるアンケート  
・ 保護者による学校に関するアンケート  
・ 保護者による寄 宿 舎 に関するアンケート
- (3) 実施期間 令和5年11月10日（金）～12月13日（水）
- (4) 回答状況 回収率 教職員100% 生徒100% 保護者100%

### 2 各項目の評価基準

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 4 そのとおりである | 3 概ねそのとおりである |         |
| 2 やや違う     | 1 違う         | 0 わからない |

### 3 総合評価（平均）の評価基準

\*評価の平均が

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 3.50以上       | 達成できている   |
| 3.00以上3.50未満 | 概ね達成できている |
| 2.00以上3.00未満 | 努力を要する    |
| 2.00未満       | 達成されていない  |

### 4 集計結果の分析と検討

- (1) 学校に関する保護者アンケートでは、概ね3.5以上の評価である。寄 宿 舎 に関する保護者アンケートでは17項目中すべての項目で3.5以上の評価である。生徒アンケートでは1学年の評価が高い。しかし「授業の進め方は、わかりやすい」や「学校生活」に関わる項目の評価が各学年とも低く、授業内容の見直しや学校行事の内容の見直しが必要な時期にきているのかもしれない。
- (2) 教職員のアンケートでは、自己評価が大きく上がったものはないが、高い評価を得られていた項目がほとんどであり大きな変化は見られなかった。教務に関わる項目や渉外部のPTA活動に関わる項目評価が高かったものの、PTA活動に関しては保護者から「わからない」との回答が多く、情報発信の方法を検討する必要がある。
- (3) 平均値が前年より下回った事項や自由記述に記載された要望や改善点に関して検証・検討し、よりよい方向へ改善を進め、次年度の学校運営や教育活動の更なる充実に努めたい。

令和5年度 学校に関する保護者アンケート結果 青森県立青森第二高等養護学校  
 4 そのとおりである 3 おおむねそのとおりである 2 やや違う 1 違う 0 分からない

I 学校経営について	1学年			2学年			3学年			全体			全校								
	R5	R4	R3	4	3	2	1	0	無	合計	分母	平均									
1 学校は、教育方針や取り組みについて分かりやすく伝えられている。	3.6	3.6	3.5	3.3	3.4	3.5	3.3	3.5	3.3	3.4	3.5	3.5	42	43	4	1	0	0	306	90	3.4
2 学校は、教育活動の様子や結果を分かりやすく伝えている。	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	45	42	2	1	0	0	311	90	3.5
3 学校は、生徒や保護者のプライバシーに配慮している。	3.5	3.6	3.6	3.4	3.6	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	45	43	0	1	1	0	310	89	3.5
4 学校は、産業科の特色を生かした教育活動を推進している。	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.7	3.4	3.5	3.6	47	41	0	1	1	0	312	89	3.5
5 学校は、寄宿舎の機能を生かした指導が行われている。	3.6	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.4	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	39	34	0	0	17	0	258	73	3.5
II 学習指導(指導計画、指導内容・方法、評価)・生徒指導について																					
6 学校は、個別的教育支援計画(指導計画)を作成し分かるように説明している。	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.5	3.5	45	41	3	1	0	0	310	90	3.4
7 生徒の課題や指導の方針等について担任と共通理解ができています。	3.5	3.5	3.6	3.3	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	43	41	5	1	0	0	306	90	3.4
8 生徒が将来自立した生活を営むために必要な力を育てる指導が行われている。	3.6	3.6	3.7	3.3	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4	3.5	3.6	3.5	47	38	3	1	1	0	309	89	3.5
9 学校は、就労に必要な知識・技能の定着を目指した指導が行われている。	3.7	3.6	3.6	3.2	3.5	3.4	3.4	3.6	3.5	3.4	3.6	3.5	46	38	5	1	0	0	309	90	3.4
10 授業がわかるように学習内容や指導方法が工夫されている。	3.5	3.4	3.4	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	39	45	1	1	4	0	294	86	3.4
11 「学習の記録」は、生徒の成長や進歩が分かりやすく書かれています。	3.5	3.5	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4	3.6	3.4	3.4	3.5	3.4	43	43	3	1	0	0	308	90	3.4
12 学校は、アンケートや職員研修を実施して、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	3.5	3.3	3.5	3.2	3.3	3.4	3.3	3.4	3.5	3.3	3.3	3.4	37	40	6	2	5	0	282	85	3.3
III 学校行事について																					
13 二高養祭の時期や日程は適切である。	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6	3.7	3.5	58	28	3	0	1	0	322	89	3.6
14 二高養祭は、生徒が中心となって意欲的に活動している。	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6	66	22	2	0	0	0	334	90	3.7
IV 進路指導について																					
15 必要な進路情報が適切に提供されている。	3.5	3.5	3.4	3.5	3.3	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4	50	35	4	1	0	0	314	90	3.5
16 進路について担任等と適切な話し合いが行われている。	3.5	3.5	3.6	3.5	3.4	3.5	3.6	3.7	3.5	3.5	3.5	3.5	51	32	5	1	1	0	311	89	3.5
17 現場実習の期間・内容等は適切である。	3.5	3.6	3.6	3.3	3.4	3.5	3.6	3.8	3.6	3.5	3.6	3.6	48	38	3	1	0	0	313	90	3.5
V 保健・安全について													0								
18 日常の健康管理や規則正しい生活習慣を身に付ける指導が行われている。	3.6	3.7	3.7	3.4	3.6	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	50	35	5	0	0	0	315	90	3.5
19 交通安全や防災についての指導が行われている。	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.3	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	45	41	2	0	2	0	307	88	3.5
20 学校は事故、けが、病気、災害等が発生した場合に、適切に対応している。	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.4	3.4	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	49	36	2	2	1	0	310	89	3.5
21 学校の安全管理は適切に行われている。	3.6	3.6	3.6	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	49	36	5	0	0	0	314	90	3.5
22 学校は緊急時の対応や連絡体制において適切に対応している。	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5	3.6	3.5	53	31	6	0	0	0	317	90	3.5
VI 家庭・学校の連絡																					
23 家庭への連絡(学年・学級だよりなどを含む)は適切に行われている。	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	55	32	3	0	0	0	322	90	3.6
24 学校(担任等)との話し合いは適切に行われている。	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	54	33	3	0	0	0	321	90	3.6
VII PTA活動等																					
25 各種委員会、障害者家庭教育学級、地域ブロック活動は活発に行われている。	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	43	37	1	0	9	0	285	81	3.5
26 同窓会や地域ブロック活動の計画・内容等を理解している。	3.4	3.5	3.5	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	33	40	5	0	12	0	262	78	3.4
27 会計報告は適切に行われている。	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5	45	34	4	0	7	0	290	83	3.5
VIII 総合的・他																					
28 お子さんを本校に入学させてよかったと思っている。	3.9	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	67	18	2	1	2	0	327	88	3.7

※黄色は評価が高かった項目 ブルーは評価が低かった項目

記述欄

○いつもお世話になっております。先日は、修学旅行でお世話になりありがとうございました。お陰様で、貴重な体験をさせていただき、一生の思い出になったと思います。また、現場実習や技能検定の際は、先生方に熱心なご指導をいただき、ひと回り成長したように感じます。ありがとうございました。お手数をおかけしますが、今後ともよろしくお願いいたします。

○技能検定の様子を会場で見ましたが、皆さん大変すばらしかったです。我が子もこれほど集中して頑張れるのかと驚いたほどで、入学できて本当に良かったと感じました。

△今年度の修学旅行については、「旅ともプラス」というアプリで修学旅行の様子を知れると思い、たびたびチェックしていましたが、1日目は空港に着いたきり何のお知らせもなく不安でした。システム障害もあったようですが、その後もアルバムの更新のお知らせがあっても写真は一切のっていませんでした。アプリに登録した意味あったのでしょうか。もう少し修学旅行の情報を知りたかったです。

△物価も上がっているので、修学旅行のお小遣いはもう少し多くても良いかなと感じました。

# 令和5年度 生徒によるアンケート 集計

青森県立青森第二高等養護学校

4…とてもそう思う 3…だいたいそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったくそう思わない

項目	番号	質問	1学年			2学年			3学年			全体		
			R5	R4	R3									
	1	友達と一緒に話をしたり、遊んだりすることが楽しい。	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.4	3.3	3.5	3.5	3.5	3.6	3.4
	2	いろんな事を話し合える友達がいる。	3.6	3.7	3.1	3.6	3.4	3.1	3.4	3.4	3.2	3.6	3.5	3.1
	3	みんなで助け合って活動している。	3.6	3.7	3.2	3.7	3.4	3.5	3.3	3.2	3.3	3.6	3.4	3.3
先生	4	先生は、生徒の生活や興味・関心のあることについて知っている。	3.5	3.4	3.2	3.5	3.3	2.9	3.4	3.2	3.2	3.5	3.3	3.1
	5	先生は、生徒の悩みごとについて相談にのってくれる。	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.3	3.5	3.5	3.4	3.6	3.6	3.4
	6	先生は、よいことをしたときやがんばったとき、ほめてくれる。	3.6	3.7	3.3	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	3.4
	7	先生は、失敗したとき、適切にアドバイスしてくれる。	3.7	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	3.5	3.6	3.4	3.6	3.6	3.4
学習	8	専門教科の授業は、働くために必要な知識や態度について、ていねいに教えている。	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7
	9	先生は、現場実習や進路について、必要な情報を伝えてくれる。	3.8	3.8	3.3	3.7	3.8	3.7	3.6	3.8	3.6	3.8	3.8	3.6
	10	先生は、わからないことを聞くと、ていねいにおしえてくれる。	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5
	11	授業の進め方は、わかりやすい。	3.2	3.6	3.3	3.5	3.2	3.3	3.2	3.5	3.2	3.3	3.4	3.3
	12	「学習の記録」を見て、勉強したことを振り返ることができる。	3.3	3.6	3.3	3.4	3.6	3.0	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.2
特別活動	13	学校行事は楽しい。	3.5	3.4	3.2	3.2	3.4	3.2	3.1	3.0	3.3	3.3	3.2	3.3
	14	学級の活動や生徒会活動、委員会活動、部活動などにやりがいをもって取り組んだ。	3.6	3.5	3.3	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.7	3.5	3.4	3.4
	15	二高養祭の活動は、友達と協力して取り組める内容になっている。	3.6	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.4	3.3	3.6	3.6	3.3	3.5
施設設備・防災	16	生活や学習に必要な教室や場所、道具等が準備されている。	3.6	3.8	3.3	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.2	3.6	3.6	3.3
	17	学校や寄宿舎の中に危険なところはない。	3.3	3.8	3.5	3.6	3.4	3.4	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5
	18	学校や寄宿舎で火事や地震が起きたとき、どうすればよいか知っている。	3.8	3.8	3.4	3.9	3.6	3.4	3.7	3.6	3.8	3.8	3.6	3.5
学校生活	19	楽しい学校生活を送っている。	3.0	3.3	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1	2.9	3.1	3.1	3.1	3.1
	20	目標をもって学校生活を送っている。	3.2	3.5	3.2	3.5	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.4	3.4	3.2
	21	この学校に入学してよかったと思う。	3.4	3.2	3.4	3.2	3.2	3.7	3.0	3.1	3.5	3.3	3.1	3.5

※黄色は評価が高かった項目

ブルーは評価が低かった項目

# I-1 自己評価[令和5年度学校目標・経営方針・重点項目]集計結果

「4」…達成できた 「3」…おおむね達成できた 「2」…あまり達成できなかった 「1」…達成できなかった 「0」分らない

項目	評価規準		評価							
			4	3	2	1	0	R5	R4	R3
1 学校経営・校務全般	1.1.1	学校は、生徒や学校・地域の実態を踏まえた学校目標を設定している。	22	29	0	0	0	3.4	3.5	3.5
	1.1.2	学校は、教職員が自ら職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努めている。	25	25	1	0	0	3.5	3.4	3.5
	1.1.3	学校は、教育目標や教育課程について、生徒や保護者に対して説明をしている。	21	28	1	0	1	3.4	3.5	3.5
	1.1.4	学校は、個々の生徒の個性を伸ばすことを教育目標に設定し、教育活動に取り組んでいる。	27	24	0	0	0	3.5	3.6	3.5
	1.1.5	学校は、学校・学級・PTA等の経理を適切に処理し、関係書類を適切に保管している。	32	19	0	0	0	3.6	3.6	3.7
	1.1.6	学校は、産業科の特色を生かした教育活動を推進している。	33	17	1	0	0	3.6	3.6	3.5
	1.1.7	学校は、寄宿舎の機能を生かした指導を行っている。	19	28	3	0	1	3.3	3.3	3.4
	1.1.8	学校は、部活動の目標や方針を設定し、教職員が共通理解をしている。	22	27	1	0	1	3.4	3.5	3.5
	1.1.9	学校は、部活動を実施するための体制・組織や役割分担を明確にしている。	23	26	1	0	1	3.4	3.5	3.6
	1.1.10	学校は、施設・設備を整備し、有効に活用している。	23	25	2	1	0	3.4	3.5	3.5
	1.1.11	学校は、校舎内外の美化と安全に努めている。	26	23	2	0	0	3.5	3.6	3.5
2 全教職員による進路指導	1.2.1	学校は、個別の指導計画に基づいて、キャリア教育の視点から、生徒の社会的、職業的自立に必要な力を計画的に育んでいる。	27	23	1	0	0	3.5	3.5	3.6
	1.2.2	学校は、外部の人材や施設等を活用するなど、地域との連携協力の下に教育活動を展開している。	27	24	0	0	0	3.5	3.5	3.4
	1.2.3	学校は、学級担任、進路指導部、寄宿舎担当等による校内の協力体制を築き、生徒の社会的・職業的自立に必要な力を計画的に育んでいる。	25	24	1	0	1	3.5	3.5	3.6
	1.2.4	学校は、最新の進路情報を整備し、授業の中で活用することや、保護者への分かりやすい情報提供に努めている。	24	24	2	0	1	3.4	3.5	3.5
	1.2.5	学校は、関係機関と連携した取組を積極的に行っている。	24	26	0	0	1	3.5	3.4	3.7
	1.2.6	学校は、組織的に職場開拓を行い、生徒個々の実態や適性、本人及び保護者の希望等を踏まえた現場実習を実施している。	28	23	0	0	0	3.5	3.6	3.7
3 生徒の主体性や人間関係づくりを重視した生徒指導	1.3.1	学校は、生徒が自他の理解を深め、円滑な人間関係を構築することで、積極的、協働的に集団活動へ参加できるように、お互いを認め合える集団づくりと一人一人が力を発揮できる場面づくりに努めている。	24	27	0	0	0	3.5	3.5	3.6
	1.3.2	学校は、生徒が自ら判断し、行動できるように、生徒の気持ちや考えを大切に生徒指導に努めている。	24	27	0	0	0	3.5	3.5	3.5
	1.3.3	学校は、生徒会活動や対外的スポーツ大会並びに文化的活動への参加、資格取得等へのチャレンジなどを通して、生徒の主体性を育てている。	32	19	0	0	0	3.6	3.6	3.6
	1.3.4	学校は、体育や専門教科の授業、部活動、体育的行事等において、生徒が主体的に取り組み、健康・体力・持久力の向上を図っている。	29	22	0	0	0	3.6	3.6	3.7
	1.3.5	学校は、社会資源の活用や緊急時の対応、情報モラルの習得など、社会生活を営む上で必要なスキルや規範意識の育成に向けた指導を計画的に進めている。	23	28	0	0	0	3.5	3.4	3.5
	1.3.6	学校は、いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努め、家庭や関係機関と連携して、組織的な取組を行っている。	25	26	0	0	0	3.5	3.5	3.7
	1.3.7	学校は、定期あるいは必要に応じて教育相談を実施するなど、生徒との意思疎通を図るよう体制を整えている。	28	22	0	0	1	3.6	3.5	3.7
4 整備と言語環境の充実	1.4.1	学校は、将来の社会生活・職業生活に必要な「挨拶」「返事」等の基本的なやりとり、相手や場面に応じたコミュニケーションスキルの一層の向上に努めている。	25	25	1	0	0	3.5	3.6	3.6
	1.4.2	学校は、生徒の人格や人権を尊重し、教職員自らが生徒の手本となるよう、適切な言語環境の整備に努めている。	21	29	1	0	0	3.4	3.4	3.5
	1.4.3	学校は、授業や様々な活動の中で、発表や作文活動、話し合いの場の設定など、生徒の考えや意見を表現する機会を大切に、言語活動の充実を図っている。	28	20	2	0	1	3.5	3.5	3.6

の5 充実 地域 及び 協力 体制 の 支援 構築	1.5.1	学校は、東青地区特別支援連携協議会を中心とした地域の支援体制構築に積極的に関わり、小中学校等からの要請に応じた支援に組織的に取り組んでいる。	22	28	0	0	1	3.4	3.5	3.5
	1.5.2	学校は、本校に対する理解並びに中学校からの一貫した指導を推進する機会として、中学生や保護者、中学校教員を対象とした学校見学会及び研修会に取り組んでいる。	28	23	0	0	0	3.5	3.5	3.8
	1.5.3	学校は、地域の高校や施設、町内会等との交流を積極的に進める中で、本校の教育活動に対する理解啓発と相互協力体制の構築に取り組んでいる。	26	24	0	0	1	3.5	3.5	3.5
	1.5.4	学校は、ホームページや各種情報発信を通して、本校での学習の様子や生徒の活躍、学校の姿を地域社会に積極的に発信している。	32	18	1	0	0	3.6	3.5	3.7
の6 充実 校内 研究 的 な 自己 研修	1.6.1	学校は、「道徳」、「特別活動」、「自立活動」、「保健」等の領域・教科に焦点化し、豊かな人間性を育む指導の在り方を探る校内研究に計画的に取り組んでいる。	27	21	2	0	1	3.5	3.5	3.5
	1.6.2	学校は、学校課題に基づいて、校内研修会の実施及び校外研修会への参加を計画的に行っている。	25	25	0	0	1	3.5	3.5	3.5
	1.6.3	学校は、生徒にとって分かりやすい授業を目指し、教育内容の精選や指導方法の工夫を通して、授業改善に取り組んでいる。	23	27	0	0	1	3.5	3.5	3.5
	1.6.4	学校は、生徒の自己肯定感を高める支援の充実に取り組んでいる。	21	29	0	0	1	3.4	3.5	3.6

※ブルーは、評価が低かった項目

自由記述	
・働きやすい環境を整えるために、可能であれば年度初めに全職員と面談をしてほしい。	
1.1.7 日生面に課題のある生徒がいる。生徒も多様化しているので限られた人数で十分な指導をするのは大変だと思うが、入浴指導や洗濯など行ってほしい。柔軟に指導員の人数を増やすなどできればいいが。	
・進路情報を保護者に十分提供できていなかったと係として反省しています。もう少し工夫できればと思いました。	
・生徒任せにせず、職員も気づいた時に清掃することがあってもよかったと思いました。	

## I-2 自己評価[各学部・分掌の重点事項]集計結果

「4」…達成できた 「3」…おおむね達成できた 「2」…あまり達成できなかった 「1」…達成できなかった 「0」分らない

学校 学年 分掌	評価規準	評価								
		4	3	2	1	0	R5	R4	R3	
学 年	2.1.1	1学年は、二高養生としての自覚を育て、望ましい生活習慣と、基礎的、基本的な学力を身につけさせている。	25	25	0	0	1	3.5	3.5	3.3
	2.1.2	1学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な生活経験の拡大を図っている。	27	24	0	0	0	3.5	3.5	3.3
	2.1.3	1学年は、学年懇談会や学年通信等を通して、保護者に適切に情報を提供するとともに、保護者、他学年、寄宿舎等と連携している。	25	25	0	0	1	3.5	3.6	3.5
	2.2.1	2学年は、中堅学年としての自覚を育て、望ましい生活習慣の確立や基礎学力の向上を図っている。	26	24	0	0	1	3.5	3.4	3.4
	2.2.2	2学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な基礎知識・技能の習得及び態度・習慣の形成を図っている。	24	26	0	0	1	3.5	3.4	3.4
	2.2.3	2学年は、学年懇談会や学年通信等を通して、保護者に適切に情報を提供するとともに、保護者、他学年、寄宿舎等と連携している。	26	24	0	0	1	3.5	3.5	3.5
	2.3.1	3学年は、最高学年としての自覚を育て、充実した学校生活の確立を図っている。	25	25	0	0	1	3.5	3.5	3.4
	2.3.2	3学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な基礎的知識・技能の習得及び態度、習慣の定着を図っている。	25	25	0	0	1	3.5	3.5	3.5
	2.3.3	3学年は、本人及び保護者のニーズを踏まえ、関係機関等と連携して進路指導（移行支援含む）を行っている。	30	21	0	0	0	3.6	3.6	3.6
分 掌	2.4.1	教務部は、学校課題や生徒の実態を踏まえた教育課程を編成し、学年間、寄宿舎との連絡調整をしながら教育活動を展開している。	31	19	0	0	1	3.6	3.6	3.8
	2.4.2	教務部は、中学校や関係機関等のニーズに応じて学校見学会、説明会等を実施し本校の教育活動への理解啓発を図っている。	36	15	0	0	0	3.7	3.6	3.8
	2.5.1	生徒指導部は、学校行事や生徒会活動及び部活動を通して、主体的、協調的な態度及び望ましい人間関係の構築や社会性の育成を図っている。	27	23	1	0	0	3.5	3.5	3.7
	2.5.2	生徒指導部は、各学年及び寄宿舎、保護者、外部機関と連携し、生徒の問題行動やいじめの未然防止及び早期発見に努め、組織的に対応している。	26	24	1	0	0	3.5	3.5	3.7
	2.6.1	保健安全部は、生徒の健康状態を的確に把握し、生徒が主体的に健康管理できるよう支援している。	33	18	0	0	0	3.6	3.6	3.7
	2.6.2	保健安全部は、より良い生活習慣の育成のため、食と生活を含む給食指導の充実を図っている。	31	20	0	0	0	3.6	3.6	3.6
	2.6.3	保健安全部は、緊急時の対応等を含め、危機管理マニュアルの一層の充実を図っている。	31	19	1	0	0	3.6	3.5	3.7
	2.7.1	進路指導部は、生徒個々の実態や適性、本人及び保護者の希望等を踏まえた現場実習を実施している。	32	19	0	0	0	3.6	3.6	3.7
	2.7.2	進路指導部は、最新の進路情報を整備し、学級担任や保護者との適切な情報共有に努めている。	31	18	1	0	1	3.6	3.6	3.7
	2.8.1	研修部は、学校課題の改善に向けた校内研究、校内研修会の実施により、教員の専門性の向上を図っている。	29	20	1	0	1	3.6	3.5	3.6
	2.8.2	研修部は、県内外の研修会開催等に関する情報を適切に紹介し、研修の機会を提供している。	28	22	1	0	0	3.5	3.6	3.7
	2.9.1	渉外部は、保護者と連携し、家庭教育学級、地域ブロック活動等PTA活動の活性化を図っている。	31	20	0	0	0	3.6	3.6	/
	2.9.2	渉外部は、特P連、県知P連、高P連の加盟校として事務局と連携し、計画的に研修会等の案内をしている。	33	17	0	0	1	3.7	3.6	3.5
	2.10.1	寄宿舎は、集団生活を通して、よりよい人間関係の構築及び将来の社会人として必要な生活習慣の定着を図っている。	22	26	2	0	1	3.4	3.3	3.2
	2.10.2	寄宿舎は、余暇指導の充実を図っている。	18	26	5	1	1	3.2	3.3	3.2
2.11.1	事務部は、学校の窓口として適切な対応をしている。	35	16	0	0	0	3.7	3.6	3.6	
2.11.2	事務部は、教材購入等において教員と十分な連携を図っている。	39	12	0	0	0	3.8	3.6	3.8	

※黄色は、評価が高かった項目、ブルーは評価が低かった項目

\* 2又は1の評価をした場合、改善のための意見を記入してください。

・キャリア教育自体何度聞いてもピンとこない。

2.5.2 生徒指導部というよりは学年が中心となって動いているような気がします。

2.7.2 進路情報については自己反省です。

2.10.2 寄宿舎の余暇活動については、もっと生徒の自主性を尊重していいのではないかと思います。自由な外出などをして良いのではと思います。

2.6.3 GSに、ヒヤリハットがあがっているが、事故報告になる事案もあると感じる。ヒヤリハット、事故報告の両方あってもよいのではないか。

2.11.2 今年も必要な教材を購入していただきありがとうございました。

4 そのとおりである 3 おおむねそのとおりである 2 やや違う 1 違う 0 分からない

No	評価項目	全体		
		R5	R4	R3
1	寄宿舍は、お子さんの様子について、分かりやすく伝えている。	3.6	3.7	3.7
2	寄宿舍は、生徒一人一人の特性に配慮した指導や対応をしている。	3.5	3.6	3.5
3	寄宿舍は、生徒のプライバシーが守られるように、適切に配慮している。	3.7	3.8	3.7
4	寄宿舍は、基本的な生活習慣が身に付く指導を、適切に行っている。	3.7	3.7	3.6
5	寄宿舍は、社会的な生活習慣(金銭管理・余暇利用等)を身に付ける指導を、適切に行っている。	3.6	3.7	3.6
6	寄宿舍は、勤労意欲を育てる取り組みを、適切に行っている。	3.6	3.5	3.4
7	寄宿舍は、行事や余暇活動を適切に行っている。	3.6	3.8	3.7
8	寄宿舍は、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	3.5	3.7	3.5
9	寄宿舍は、集団生活や社会のルールを守って生活するための指導を、適切に行っている。	3.7	3.5	3.6
10	寄宿舍指導員は、生徒の悩み事等の相談にのっている。	3.6	3.6	3.5
11	寄宿舍は、家庭との連絡や話し合いを、適切に行っている。	3.5	3.7	3.5
12	寄宿舍は、連絡帳や通信(ホームページ)などを通して、寄宿舍生活の様子を分かりやすく伝えている。	3.6	3.8	3.7
13	寄宿舍は、納入金や収支決算の説明を、適切に行っている。	3.7	3.7	3.7
14	寄宿舍の施設・設備は、生徒が利用しやすいよう配置されている。	3.5	3.6	3.5
15	寄宿舍の安全管理は適切に行われている。	3.6	3.8	3.6
16	寄宿舍は、緊急時(台風等の災害)対応について、適切に説明している。	3.6	3.7	3.6
17	寄宿舍は、不審者侵入防止対策を、適切に行っている。	3.6	3.8	3.5
記述欄	○いつも、子どもたちをご指導、見守ってくださりありがとうございます。大変な息子ではございますが、これからもよろしくお願いいたします。			
	△自動販売機1台でもあったらよかったですなあと思います。 △施設設備・ヨーカドーの訪問販売がなくなって不便なため、自動販売機設置してほしい。			

※黄色は、評価が高かった項目

